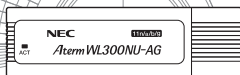
NEC

Aterm® WL300NU-AG

PA-WL300NU/AG

取扱説明書 第2版

ご使用の前に、本書を必ずお読みください。
また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

NEC 11n/a/b/g ACT Aterm WL300NU-AG

XSPAN®
Qualcomm Atheros

「ソフトウェアのご使用条件」は、3ページに記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

技術基準適合認証品

目次

- Aterm、WARPSTAR は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- Windows、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Vista はオペレーティングシステムです。
- Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- QUALCOMM is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
  ATHEROS is a trademark of Qualcomm Atheros, Inc, registered in the United States and other countries.
- その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。
本製品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合は、ご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

(2) お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
(3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転など

(1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
(2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイルなど

(1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

(1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
(2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り(バグ)を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム(以下「修正プログラム」といいます。)または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により行った場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
(3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥(ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。)があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書(もしくはその写し)を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし(ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。)これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

(1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。)および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

(1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は、メニュー画面の「本 CD-ROM について」でご覧ください。

① 無線USBスティックの無線LANのセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」（Windows 版）
② 無線 USB スティック用のドライバー式（Windows 版）
※ WL300NU-AG の対応 OS は、P81 を参照してください。

CD-ROM の使い方

1 **パソコンを起動し、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする**

2 **表示される画面にしたがってクリックする**

（使用上のご注意）

・ 添付の CD-ROM をセットして［自動再生］画面（ディスクに対して行う操作選択画面）が表示されたら、［Menu.exe の実行］をクリックしてください。
・ 添付の CD-ROM をセットしてもメニュー画面が起動しない場合は、以下の操作を行います。
　① ［スタート］（Windows のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする
　　※ Windows 8 の場合は、［スタート］画面上で右クリックして［すべてのアプリ］をクリックし、［アプリ］画面にある［ファイル名を指定して実行］をクリックします。
　　※ Windows XP の場合は、［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックします。
　② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe を入力し、［OK］をクリックする（例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:¥menu.exe）
　　※ ［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合、［はい］または［続行］をクリックしてください。
　また、自動起動しないようにするには、パソコンにより異なりますが、「Shift」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
・ CD-ROM をパソコンから取り出すときは、メニュー画面を閉じたあとに行ってください。
・ Windows Vista および Windows 8/7/XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、ドライバのインストール・アンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

CD-ROM の動作環境

● **Windows Vista または、Windows 8/7/XP/2000 Professional が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。**

● **推奨環境**

Windows の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
ハードディスクの空き容量：650MB 以上
メモリ容量：　Windows 8/7 の場合、1GB 以上を推奨（64 ビット版の場合は 2GB 以上を推奨）
Windows Vista の場合、512MB 以上を推奨
Windows XP/2000 Professional の場合、256MB 以上を推奨
800 × 600High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

●表示画面
・ サイズ ：800 × 600 ピクセル以上
・ 色　　：High-Color（24 ビット）以上
上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

●メニュー画面と「らくらく無線スタート」「サテライトマネージャ」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。
・ Windows：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　：人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

発火注意　感電注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　火気禁止

■ 行為を指示する記号

一般指示　電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警　告

こんなときには

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受付先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受付先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 警　告

こんなときには

● 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受付先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 万一、落としたり破損した場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受付先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

● 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

● 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

● ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

● 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。

⚠警　告

その他の注意事項

● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の接続を取り外してください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

● 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤作動するなどの原因となることがあります。
また、医療電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

● 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

● 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

● ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

● 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
・振動が多い場所
・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

● 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。

● 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項

● 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

● 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

● 動作中に外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、USB コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

お願い

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ずパソコンから取り外してください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。
  ただし、USB コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN に関する注意

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

その他注意事項

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。
  プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、ETHERNET ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント（親機）間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

1　ご使用にあたって

「Aterm WL300NU-AG」 は、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g のいずれかの無線 LAN アクセスポイント（親機）とワイヤレス通信できる無線 USB スティックです。

- ● USB ポート（USB2.0）を装備しているパソコンに取り付けることができます。
- ● 対応 OS は Windows Vista および Windows 8/7/XP/2000 Professional（日本語版）のみです。

ご使用方法にあわせて次のように参照してください。

●本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。

■ IEEE802.11nまたはIEEE802.11a通信でW52帯、W53帯、W56帯対応

本商品はIEEE802.11nまたはIEEE802.11a通信においてW52帯、W53帯、W56帯に対応しており、IEEE802.11nまたはIEEE802.11a通信をご利用の場合に、W52帯、W53帯ではそれぞれ最大4チャネル、W56帯では最大11チャネルがご利用になれます。

タイプ	チャネル	周波数帯域
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz帯 (5150-5250MHz)
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz帯 (5250-5350MHz)
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz帯 (5470-5725MHz)

ただし、W52帯、W53帯、W56帯は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。

以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

バージョンアップ対応機種などの最新情報は、別紙に記載のホームページなどでご確認ください。

無線LAN端末（子機）／無線LANアクセスポイント（親機）		WL300NU-AG（W52/W53/W56対応）
		W52/W53/W56
W52/W53/W56対応の無線LANアクセスポイント（親機）	W52 W53 W56	◎
W52/W53対応の無線LANアクセスポイント（親機）	W52 W53	○
J52対応の無線LANアクセスポイント（親機）で、W52に対応した場合	W52	△
J52対応の無線LANアクセスポイント（親機）	J52	×

◎：W52帯(5150-5250MHz)、W53帯(5250-5350MHz)、W56帯(5470-5725MHz)を使用して、最大19チャネルから選択が可能です。

○：W52帯(5150-5250MHz)、W53帯(5250-5350MHz)を使用して、最大8チャネルから選択が可能です。

△：W52帯(5150-5250MHz)を使用して、最大4チャネルから選択が可能です。

×：利用不可

■ワイヤレス機器の使用上の注意

- ● 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- ● 本商品は、IEEE802.11n（5GHz）および IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。なお、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を屋外で使用することは、電波法により禁じられています。
- ● W53（52/56/60/64ch）または W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - ・ 各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - ・ 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- ● IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- ● IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4　:2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF:DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4　:想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

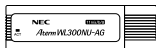
（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

2 セットを確認する

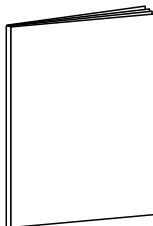
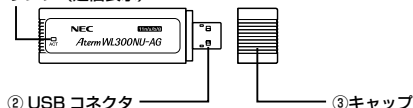
設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別途添付のお問い合わせ先にご連絡ください。

● 構成品

□ WL300NU-AG

□ USB フレキシブルケーブル

□ CD-ROM（ユーティリティ集）

□取扱説明書（本書）

3 各部の名称とはたらき

WL300NU-AG

① ACT ランプ

ACT ランプのつきかた	WL300NU-AG の状態
速い点滅	通信中
遅い点滅	・通信待機中 （通信可能状態であるが、データ送受信が行われていない） ※ただし、点滅周期が長い場合があります。 ・無線 LAN アクセスポイント（親機）サーチ中 （無線接続が確立されていない）
消灯	電源が入っていないとき （無線機能が「無効」のとき、またはドライバ無効の状態）

② USB コネクタ

パソコンの USB ポート（USB2.0）に取り付けて使用します。

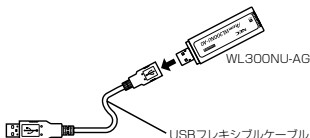
③キャップ

使用するときは、キャップを外してください。

お願い

●WL300NU-AG を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（ETHERNET ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。

お知らせ

●折り曲げ可能な USB フレキシブルケーブル（添付品）を接続すると、WL300NU-AG の角度や向きを自由に調整することができます。

4 WL300NU-AG を無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する

WL300NU-AG を無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線接続するには、無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線設定内容を WL300NU-AG 側に設定します。

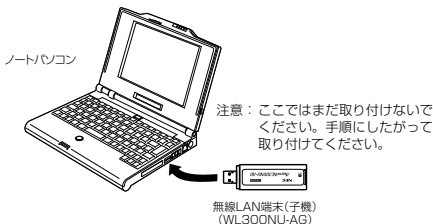
設定方法は、次のとおりです。

① サテライトマネージャとドライバをインストールする（☛P21）
② らくらく無線スタートで設定する（☛P27）

ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）が、らくらく無線スタートに対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の取扱説明書（「つなぎかたガイド」など）を参照してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応していない場合は、下記の手順で設定してください。

① サテライトマネージャとドライバをインストールする（☛P21）
② サテライトマネージャで設定する（☛P42）

※ サテライトマネージャを使用しないで設定する場合は、ドライバを手動インストールして（☛P31）、Windows の「ワイヤレスネットワークの接続」で設定してください。（☛P50）

WL300NU-AG を無線 LAN 端末（子機）としてご利用になれる OS は、Windows Vista および Windows 8/7/XP/2000 Professional（日本語版）のみです。Macintosh、その他 OS、ゲーム機などではご利用になれません。

WL300NU-AG は、USB ポート（USB2.0）を装備しているパソコンに取り付けることができます。

お願い

- USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。WL300NU-AG の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。
- WL300NU-AG の USB コネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- USB コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
- WL300NU-AG はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前に WL300NU-AG を取り付け直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- 他の無線 LAN 端末（子機）のソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンで、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させていない場合は、WL300NU-AG のドライバが正しくインストールできないことや、正しく通信できないことがあります。他の無線 LAN 端末（子機）や LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてください。
- 無線 LAN 内蔵パソコンに WL300NU-AG を取り付けて使う場合は、必ず内蔵無線 LAN の［デバイスマネージャー］（または［デバイスマネージャ］）の［ネットワークアダプター］（または［ネットワークアダプタ］）にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。
- サテライトマネージャのらくらく無線スタートを起動する前に誤って、WL300NU-AG をパソコンに取り付けて、ハードウェアウィザードが起動した場合は、［キャンセル］をクリックして、WL300NU-AG を取り外してください。
- WL300NU-AG と無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離は、1m 以上離してお使いください。無線 LAN アクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。
- 隣り合う USB ポートの間隔により、複数のポートを同時に使用できない場合は、USB フレキシブルケーブル（添付品）を接続してご利用ください。（☛P18）
- USB インタフェースに WL300NU-AG を取り付けた場合、電力不足となり、お使いいただけない場合があります。
- WL300NU-AG と無線 LAN カードを同時に使用することはできません。同時に取り付けてしまった場合は、両方をいったん取り外して、WL300NU-AG のみ取り付け直してください。

  それでも動作しない場合は、それぞれのドライバをアンインストールしてから取り付け直してください。
- WL300NU-AG をパソコンに取り付けてもランプが点灯せず動作しない場合は、いったん WL300NU-AG を取り外したうえで再度取り付けてください。

サテライトマネージャとドライバをインストールする

WL300NU-AG を設定するためのユーティリティ「サテライトマネージャ」とドライバをパソコンにインストールします。

1 **Windows Vista または Windows 8/7/XP/2000 Professional を起動する**

Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2 **添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする**

※Windows 8 の場合は、［スタート］画面で［デスクトップ］を選択してから、添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。セット後、「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」の表示をクリックしてください。

3 **［自動再生］画面（またはディスクに対して行う操作選択の画面）が表示された場合は、［Menu.exe の実行］をクリックする**

4 **［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックする**

（画面は Windows 7 の場合の例です。）

5 **メニュー画面で WL300NU-AG が該当する項目の［CLICK］をクリックする**

「メニュー画面」が表示されないときは（☛P5）

（画面は Windows 7 の場合の例です。）
※ 画面はバージョンによって異なる場合があります。

（次ページに続く）

Windows XP の場合は、下の画面が表示されます。

※画面はバージョンによって異なる場合があります。

6 ［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］画面で［次へ］をクリックする

7 ［次へ］をクリックする

Aterm WARPSTAR ユーティリティ インストーラ

"Aterm WARPSTAR ユーティリティ インストーラ" へようこそ

このプログラムは、あなたのコンピュータに
"Aterm WARPSTAR ユーティリティ"
をインストールします。

［次へ］を押すと作業を続行します

キャンセル　次へ(N) >

8 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする

Aterm WARPSTAR ユーティリティ インストーラ

以下を必ずお読みください。

◇免責条項
日本電気株式会社・NECアクセステクニカ株式会社(以下「弊社」とします)は、
本ソフトウェア製品の使用または使用不能から生じる一切の損害
(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失またはその他の金銭的損失を
含みますがこれらに限定されません)に関して一切責任を負いません。
たとえ、弊社がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも
同様です。

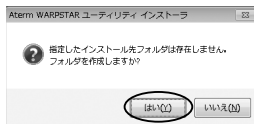
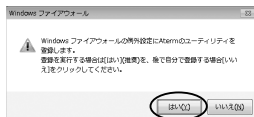
上記条項にご同意いただける場合は「次へ」を押してください。

キャンセル　< 戻る(B)　次へ(N) >

9 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

10　次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする

インストールが開始されます。

11　次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする

12　［README の表示］と［サテライトマネージャを常駐させる］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

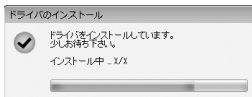
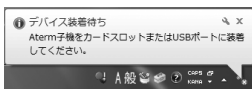
サテライトマネージャがインストールされました。

13　README をよく読み、［README］画面を閉じる

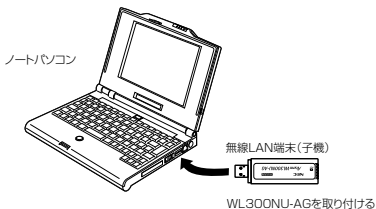
手順 14 へ進みます。

- Windows Vista および Windows 8/7 の場合（☛P24）
- Windows XP/2000 Professional の場合（☛P25）

Windows Vista および Windows 8/7 の場合

14 未インストール状態のドライバが自動的にインストールされる

15 通知領域（タスクトレイ）に右図のバルーンが表示されることを確認する

16 WL300NU-AG をパソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。

WL300NU-AGを取り付ける

17 Windows 7/Windows Vista の場合は、通知領域（タスクトレイ）に右図のバルーンが表示されることを確認する

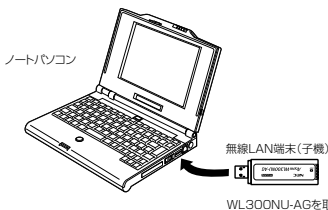
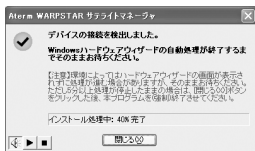
以上で Windows Vista および Windows 8/7 でのインストールは完了です。
CD-ROM を取り出して、「らくらく無線スタートで設定する」（☛P27）に進みます。

Windows XP/2000 Professional の場合

14 **Windows XP/2000 Professional の場合は、通知領域（タスクトレイ）にサテライトマネージャが表示されることを確認する**

15 **WL300NU-AG をパソコンに取り付ける**

ドライバが自動的にインストールされます。ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、ドライバのインストールが完了するまで操作しないでください。

WL300NU-AGを取り付ける

以上で Windows XP/2000 Professional でのインストールは完了です。CD-ROM を取り出して、「らくらく無線スタートで設定する」（☛P27）に進みます。

お願い

●WL300NU-AG と無線 LAN カードを同時に使用することはできません。同時に取り付けてしまった場合は、両方をいったん取り外して、WL300NU-AG のみ取り付け直してください。それでも動作しない場合は、それぞれのドライバをアンインストールしてから接続し直してください。

お知らせ

●サテライトマネージャ、またはらくらく無線スタートで設定を行った場合、Windows XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。「① Windows XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合」（☛P51）

! ドライバをアンインストール（削除）するには

WL300NU-AG のドライバを正常にインストールできなかった場合や WL300NU-AG のドライバをインストールする前の状態に戻したい場合は、WL300NU-AG のドライバをアンインストールします。

※ Aterm WARPSTAR ユーティリティがインストールされている必要があります。
インストール方法については「サテライトマネージャとドライバをインストールする」（☛P21）を参照してください。

■ **Windows Vista および Windows 8/7 の場合**

次の手順でいったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。

① 通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックし、［終了］を選択する
② WL300NU-AG を取り外す（☛P41）
③ ［スタート］（Windows のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［ドライバとユーティリティの削除］をクリックする
※ Windows 8 の場合は、［スタート］画面で［サテライトマネージャ］を右クリックして［アンインストール］をクリックし、［Aterm WARPSTAR ユーティリティ」を選択して［アンインストールと変更］をクリックします。
④ ［ユーザーアカウント制御］の画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックする
⑤ 画面の指示にしたがって、アンインストールを行う

■ **Windows XP/2000 Professional の場合**

次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度、ドライバをインストールしてください。

① 通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックし、［終了］を選択する。
② WL300NU-AG を取り外す（☛P41）
③ ［スタート］－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［ドライバのアンインストール］をクリックする
④ アンインストールするドライバを選択し、［実行］をクリックする
⑤ 画面の指示にしたがってアンインストールを行う

らくらく無線スタートで設定する

無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定を行います。
無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応していない場合は、「WL300NU-AG を設定する」（☛P42）を参照してください。

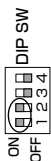
ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）が、らくらく無線スタートに対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の取扱説明書（「つなぎかたガイド」など）を参照してください。

! *らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意*

● **無線 LAN アクセスポイント（親機）側に暗号化の設定がされていることが必要です。**
→ 暗号化設定されていないと、らくらく無線スタートでの設定はできません。（P29 の手順 2 の段階で失敗します。）

● **無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合は、エントリを制限数いっぱいに登録しないようにしてください。**
→ 無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを事前に登録していなくても、らくらく無線スタートでの設定で自動的に登録されますが、制限数いっぱいに登録していると、らくらく無線スタートでの設定はできません。（P29 の手順 2 の段階で失敗します。）

● **無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応した WD600 シリーズの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の開閉カバーを開け、ディップスイッチの 1、2 を「ON」側にしてから、らくらく無線スタートで設定を行い、終わったら「OFF」側に戻してください。**

DIP SW
1 2 3 4
ON OFF

※ ディップスイッチがすべて「OFF」側の状態でらくらくスタートボタンを押すと、初期化準備状態となり、らくらく無線スタートでの設定は行えませんので、ご注意ください。
※ ディップスイッチは、細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で根元に力を加えて、倒してください。
※ WD600 シリーズはプロバイダ／接続事業者からのご購入またはレンタルによるご提供の商品です。

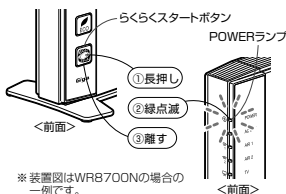
● **らくらく無線スタートでの設定中は無線 LAN アクセスポイント（親機）では無線 LAN 通信ができませんので、ご注意ください。らくらく無線スタートでの設定完了後、無線 LAN 通信が可能になります。**

● **無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタートでの設定をすることができます。**

（次ページに続く）

1 次の画面が表示されたら、無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長押し（約 6 秒）して、POWER ランプが緑点滅になったら離す

※らくらくスタートボタンは、1 分以内に押してください。

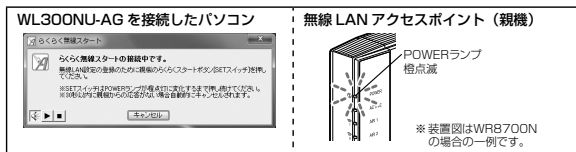
らくらく無線スタートが起動しない場合は、通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［らくらく無線スタート］をクリックします。

※装置図はWR8700Nの場合の一例です。

無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては、POWER ランプは電源ランプと表示されている場合があります。
また、らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。

!

POWER ランプが約 10 秒間赤点灯した場合は、「らくらく無線スタート」に失敗しています。
無線 LAN アクセスポイント（親機）側の取扱説明書など（「機能詳細ガイド」など）を参照して、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化を設定してください。MAC アドレスフィルタリングで接続できる無線 LAN 端末（子機）の登録がいっぱいになっていないことを確認してください。
確認後、再度手順 1（☛ 上記）から設定を行ってください。

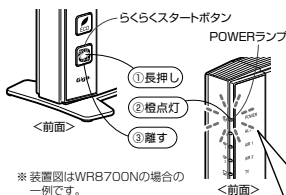
2　しばらく待って POWER ランプが橙点滅に変わったら、無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長押し（約 6 秒）して、POWER ランプが橙点灯になったら離す

※らくらくスタートボタンは、30 秒以内に押してください。

どちらか片方だけが上記の状態になっている場合は

他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。

WL300NU-AG を接続したパソコンで［キャンセル］をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れ直して手順 1（☛P28）から設定をやり直してください。

どちらも上記の状態にならない場合は

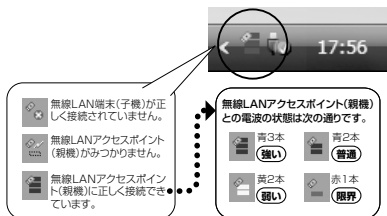
「らくらく無線スタート」がご利用になれません。サテライトマネージャで無線設定を行ってください。（「サテライトマネージャで設定する」（☛P42））

らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。

POWER ランプが約 10 秒間橙点灯することを確認します。
（POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。）

失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点灯します。手順 1 の（☛P28）から設定をやり直してください。

（次ページに続く）

無線設定が完了すると、下記の状態になります。

無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定状態は、サテライトマネージャアイコンで確認できます。

以上で、WL300NU-AG を無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための設定は完了です。

設定を変更する場合は、「5 WL300NU-AG を設定する」(☛P42)を参照してください。

ドライバを手動でインストールする場合

サテライトマネージャを使用しないで WL300NU-AG を設定する場合は、次の手順で WL300NU-AG のドライバを手動インストールしてください。
なお、通常はサテライトマネージャを使用して設定することをお勧めします。（☛P21）

Windows 8/7 の場合

Windows 7 の画面を例に説明します。

1. **Windows 8/7 を起動する**

2. **パソコンに WL300NU-AG を取り付ける**

   ※通知領域（タスクトレイ）上に「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールできませんでした。」というバルーンが表示される場合があります。

3. **［スタート］（Windows のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする**

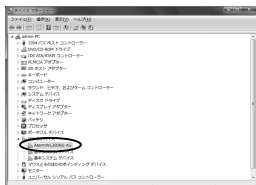
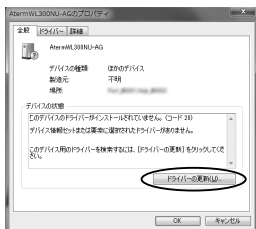
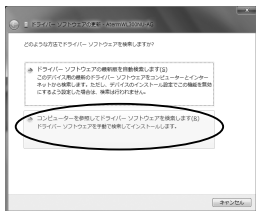
   ※Windows 8 の場合は、［スタート］画面上で右クリックして［すべてのアプリ］をクリックし、［アプリ］画面にある［コントロールパネル］をクリックします。
   ※［表示方法］はカテゴリ表示にしてください。

4. **［システムとセキュリティ］をクリックする**

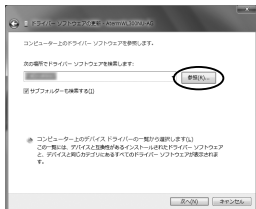
5. **［デバイスマネージャー］をクリックする**

（次ページに続く）

6 ［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

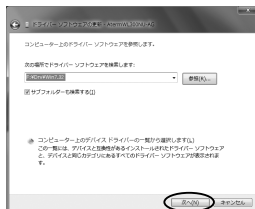
7 ［ほかのデバイス］より［Aterm WL300NU-AG］を選択し、ダブルクリックする

8 ［ドライバーの更新］をクリックする

9 ［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックする

10 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする

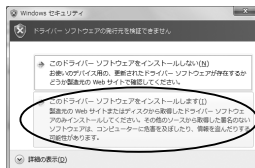
※「自動再生」画面が表示された場合は、［×］をクリックして画面を閉じてください。

11 ［参照］をクリックする

12 CD-ROM ドライブから下記フォルダを選択し、[OK] をクリックする

●Windows 7 の場合
64 ビット版：[Drv] － [Win7_64]
32 ビット版：[Drv] － [Win7_32]

●Windows 8 の場合
64 ビット版：[Drv] － [Win8_64]
32 ビット版：[Drv] － [Win8_32]

13 [次へ] をクリックする

14 次の画面が表示された場合は、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックする

※「自動再生」画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。

15 ドライバがインストールされる

16 インストールが完了したら、[閉じる] をクリックする

（次ページに続く）

17 CD-ROM を取り出す

18 WL300NU-AG のドライバのインストールを確認する

①[スタート](Windows のロゴボタン)－[コントロールパネル]をクリックする

※Windows 8 の場合は、[スタート]画面上で右クリックして[すべてのアプリ]をクリックし、[アプリ]画面にある[コントロールパネル]をクリックします。

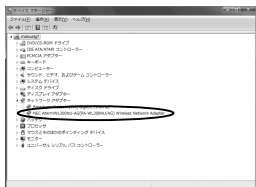
※[表示方法]はカテゴリ表示にしてください。

②[システムとセキュリティ]をクリックする

③[デバイスマネージャー]をクリックする

④[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[はい]をクリックする

⑤[ネットワークアダプター]をダブルクリックする

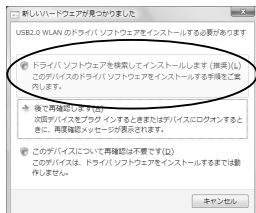
⑥[NEC AtermWL300NU-AG (PA-WL300NU/AG) Wireless Network Adapter]が表示されていることを確認する

無線 LAN アクセスポイント(親機)に接続するには、「ワイヤレスネットワークの接続(Windows Vista および Windows 8/7/XP の場合)」(☛P50)で設定します。

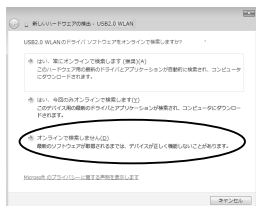
Windows Vista の場合

1 **Windows Vista を起動する**

ここでは、まだ添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットしないでください。

2 **パソコンに WL300NU-AG を取り付ける**

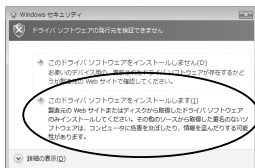
3 **［ドライバソフトウェアを検索してインストールします］をクリックする**

4 **ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする**

5 **次の画面が表示された場合は、［オンラインで検索しません］をクリックする**

6 **添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする**

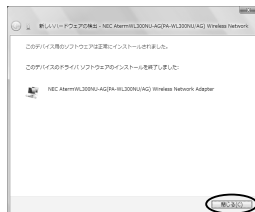
※「自動再生」画面が表示された場合は、［×］をクリックして画面を閉じてください。
※「メニュー画面」が表示された場合は、画面を閉じてください。
※右の画面に［次へ］のボタンが表示された場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセット後、［次へ］をクリックします。

（次ページに続く）

7 ［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックする

Windows セキュリティ
ドライバ ソフトウェアの発行元を検証できません
このドライバ ソフトウェアをインストールしません(D)
お使いのデバイス用の、更新されたドライバ ソフトウェアが存在するかどうか製造元の Web サイトで確認してください。
このドライバ ソフトウェアをインストールします(I)
製造元の Web サイトまたはディスクから取得したドライバ ソフトウェアのみインストールしてください。その他のソースから取得した署名のないソフトウェアは、コンピュータに危害を及ぼしたり、情報を盗んだりする可能性があります。
詳細の表示(D)

8 ドライバがインストールされる

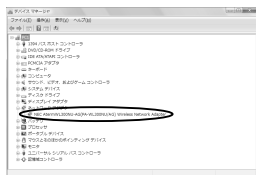
9 インストールが完了したら、［閉じる］をクリックする

新しいハードウェアの検出 - NEC AtermWL300NU-AG(PA-WL300NU/AG) Wireless Network
このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。
このデバイスのドライバ ソフトウェアのインストールを終了しました:
NEC AtermWL300NU-AG(PA-WL300NU/AG) Wireless Network Adapter
閉じる(C)

10 CD-ROM を取り出す

11 WL300NU-AG のドライバのインストールを確認する

①［スタート］（Windows のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする
②［システムとメンテナンス］－［システム］をクリックする

③タスク欄の［デバイスマネージャ］をクリックする

④［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥［NEC AtermWL300NU-AG（PA-WL300NU/AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するには、「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista および Windows 8/7/XP の場合）」（☛P50）で設定します。

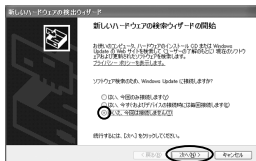
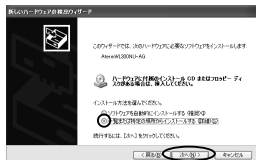
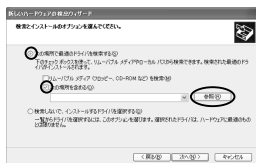
Windows XP の場合

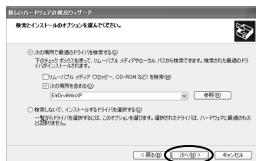
1 **Windows XP を起動する**

2 **添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする**

しばらくすると「メニュー画面」が表示されるので、画面を閉じてから手順 3 に進みます。また、「メニュー画面」が表示されない場合も、手順 3 に進みます。

3 **パソコンに WL300NU-AG を取り付ける**

4 **「新しいハードウェアの検索ウィザード」の「ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？」の画面が表示された場合は、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] をクリックする**

5 **[インストール方法を選んでください] の画面が表示された場合には、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択し、[次へ] をクリックする**

6 **[次の場所で最適のドライバを検索する] と [次の場所を含める] にチェックし、[参照] をクリックする**

7　CD-ROM ドライブから［Drv］－［WinXP］を選択し、［OK］をクリックする

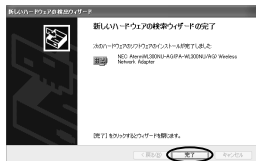
8　［次へ］をクリックする

（この画面は、CD-ROM ドライブ名が E の場合です）

9　次の画面が表示されたときは［続行］をクリックする

10　次の画面が表示されたときは［続行］をクリックする

11　インストールが完了したら、［完了］をクリックする

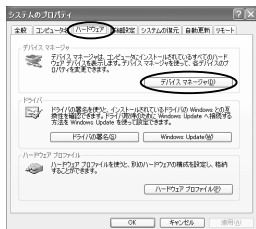
12　CD-ROM を取り出す

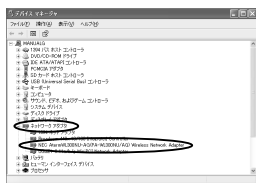
（次ページに続く）

13 WL300NU-AG ドライバのインストールを確認する

①[スタート] ー [マイコンピュータ] ー [システム情報を表示する] をクリックする

②[ハードウェア] タブをクリックする

③[デバイスマネージャ] をクリックする

※画面は、Windows XP(Service Pack 2) の場合の例です。
Windows のアップデート状況によって [デバイスマネージャ] ボタンの場所が異なります。

④[ネットワークアダプタ] をダブルクリックする

⑤[NEC AtermWL300NU-AG (PA-WL300NU/AG) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するには、「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista および Windows 8/7/XP の場合）」（☛P50）で設定します。

? *こんなときは*

手順 13 で［NEC AtermWL300NU-AG（PA-WL300NU/AG）Wireless Network Adapter］の頭に黄色い⓵が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから、インストールをやり直してください。
手順 13 で他のネットワークアダプタが有効になっていると正しく動作しない場合があります。
［NEC AtermWL300NU-AG（PA-WL300NU/AG）Wireless Network Adapter］以外のネットワークアダプタは、［操作］ー［プロパティ］をクリックして［全般］タブの［デバイスの使用状況］で［このデバイスを使わない（無効）］をチェックして無効にしてください。

WL300NU-AG の取り扱いについて

■取り付けるとき

- **WL300NU-AG の USB コネクタ部分に手を触れないようにしてください。**
- **USB コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。**

■取り外すとき

- **WL300NU-AG を取り外すときは、以下の操作で WL300NU-AG を取り外せる状態にしてから取り外してください。**

① 通知領域（タスクトレイ）にあるハードウェアアイコンをクリックする

② [AtermWL300NU-AG の取り出し］をクリックする

※Windows Vista および Windows XP の場合は、[NEC AtermWL300NU-AG (PA-WL300NU/AG) Wireless Network Adapter を安全に取り外します］をクリックします。

※Windows 2000 Professional の 場 合 は、[NEC AtermWL300NU-AG (PA-WL300NU/AG) Wireless Network Adapter の停止］をクリックします。

③「NEC AtermWL300NU-AG（PA-WL300NU/AG）Wireless NetWork Adapter は（コンピューターから）安全に取り外すことができます。」が表示されたら、×または［OK］をクリックして画面を閉じる

※ Windows Vista の場合は、「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」が表示されたら［OK］をクリックして画面を閉じます。

④ WL300NU-AG を取り外す

5 *WL300NU-AG を設定する*

ここでは、サテライトマネージャでの設定方法や、Windows の「ワイヤレスネットワークの接続」での設定方法について説明しています。

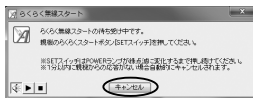
前章で、らくらく無線スタートを使用して設定した場合は、ここでの設定は必要ありません。
設定を変更する場合に参照してください。

サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、WL300NU-AG の無線の通信モードの変更、ネットワーク名（SSID）の変更、無線 LAN の設定をすることができます。
Windows Vista および Windows 8/7/XP の場合は､内蔵されている｢ワイヤレスネットワークの接続」で設定することもできます。詳しくは、P50 を参照してください。

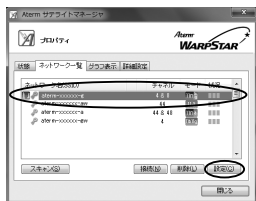
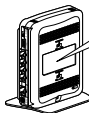
サテライトマネージャで設定する

1 ［スタート］（Windows のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［AtermWARPSTAR ユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックしてサテライトマネージャを起動する

らくらく無線スタートの待ち受け画面が表示されている場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

2 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する

3 ［ネットワーク一覧］タブをクリックする

4 接続先のネットワーク名（SSID）をクリックして、［設定］をクリックする

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。
新しく接続先を登録する場合は、［新規登録］をクリックしてください。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

（次ページに続く）

5 無線 LAN の設定を行う

使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）にあわせて次のように設定します。

暗号化の設定を行う場合は必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

[ネットワーク名（SSID)]

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定にあわせてネットワーク名（SSID）を入力します。手順４で使用するネットワーク名（SSID）を選択した場合は、そのままにしておきます。

[暗号化モード]

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定にあわせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

①[暗号化モード］で動作モードを選択する

②任意の暗号化キーを入力する

暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8 ～ 63 桁の場合】

英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>˜</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※「\」（バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】

16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが WEP の場合〉

①[暗号化モード］で［WEP］を選択する

②暗号強度を「64bit」「128bit」から選択し、指定方法を選択する

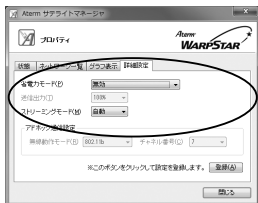
「64bit」（弱）＜「128bit」（強）の順で強い暗号がかかります。

③暗号化キーを入力する

英数字は 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z で構成されている文字列を指定できます。16 進は 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F で構成されている文字列を指定できます。

6 ［登録］をクリックする

お知らせ

●［詳細設定］タブをクリックすると、次の設定が行えます。
Windows Vista および Windows 8/7 の場合、設定を有効にするには［登録］をクリックしてください。

※画面は Windows 7 の場合の例です。

・ **省電力モード**
ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

・ **ストリーミングモード**
無線通信状態を監視するために無線 LAN 端末（子機）が行っている、無線 LAN ネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

Windows XP/2000 Professional の場合は、無線機能の有効化／無効化、Windows XP のワイヤレスネットワークの有効化／無効化の設定も行うことができます。

●無線 LAN アクセスポイント（親機）が WR8000/WR9000 シリーズの場合、IEEE802.11n 通信時に利用できる暗号化モードは、WPA-PSK（AES）または WPA2-PSK（AES）のみとなります。これ以外の WEP、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（TKIP）は IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信時に利用できます。
（2012 年 12 月現在）

お願い

●同じネットワーク名（SSID）を設定した複数の無線 LAN アクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの［ネットワーク一覧］のチャネル表示が［状態］の表示と異なる場合があります。［状態］表示の値を参照してください。

●2 台目以降の無線 LAN 端末（子機）を追加する場合は、1 台目と同じ暗号化キーを入力してください。

! サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

[プロパティ]：
通信モードの設定、暗号化の設定をすることができます。
[状態] タブで無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続状態を詳細に確認することができます。
無線の接続状態が「普通」または「強い」になることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

[らくらく無線スタート]：
無線 LAN アクセスポイント（親機）とのネットワーク名（SSID）や暗号化設定を簡単に行うことができます。（☛P27）

[接続先切替]：
サテライトマネージャで設定した接続先（無線 LAN アクセスポイント（親機））を切り替えて使用できます。

[無線機能を無効化する／無線機能を有効化する]（Windows Vista および Windows 8/7 の場合のみ）**：**
[無線機能を無効化する] または [無線機能を有効化する] をクリックすると、無線機能を無効または有効に切り替えることができます。
Windows Vista および Windows 8/7 の場合のみの項目です。（Windows XP/2000 Professional の場合は、[プロパティ] − [詳細設定] にて設定することができます。）

[タスクバーに常駐する]：
[タスクバーに常駐する] にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

[バージョン情報]：
サテライトマネージャのバージョンや無線 LAN 端末（子機）のドライバのバージョンを確認することができます。

[終了]：
サテライトマネージャを終了します。

サテライトマネージャを起動するには

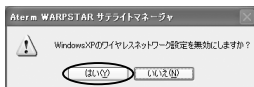
サテライトマネージャを終了させたあとに、再度サテライトマネージャを起動するときは、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] − [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] − [サテライトマネージャ] をクリックします。

Windows XP でサテライトマネージャをご利用になるには

Windows XP のワイヤレスネットワークの設定でいったん設定を行っていた場合、Windows XP でサテライトマネージャをご利用になるには、Windows XP のワイヤレスネットワークの設定を停止する必要があります。

① サテライトマネージャを起動する

② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

③ 次の画面が表示されるので［はい］をクリックする

以上の設定を行うと、Windows XP でサテライトマネージャが使用できるようになります。P42 からのサテライトマネージャでの無線LAN アクセスポイント（親機）の登録設定、暗号化設定を行ってください。

サテライトマネージャで無線 LAN アクセスポイント(親機)との通信状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の通信状態を確認することができます。

1 **通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**

［サテライトマネージャ］アイコンでは、次のことが確認できます。

● **無線LANアクセスポイント（親機）との接続状態**

無線 LAN 端末（子機）が正しく接続されていません。

無線 LAN アクセスポイント（親機）が正しく検出できています。

無線 LAN アクセスポイント（親機）がみつかりません。

● **無線LANアクセスポイント（親機）との電波状態**

青 3 本 強い

青 2 本 普通

黄 2 本 弱い

赤 1 本 限界

※アイコンにポインタを近付けると、下記のようなバルーンが表示されます。
バルーン表示では、接続中のネットワーク名（SSID）、無線状況（電波状態）、リンク速度（送信）を確認することができます。

2 **［状態］タブをクリックする**

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末(子機)の通信状態が表示されます。

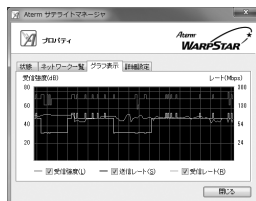
3 接続状態を確認し、[閉じる] をクリックする

無線の接続状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。

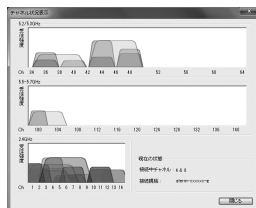
「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】

通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。

【状態】－【チャネル状況】

近くの無線 LAN アクセスポイント（親機）が、どのチャネルで使われているかを表示します。同じ無線チャネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。

現在接続中のチャネルは赤で表示されます。

ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista および Windows 8/7/XP の場合）

Windows Vista および Windows 8/7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの接続」で無線設定を行うことができます。

※ あらかじめパソコンに WL300NU-AG のドライバがインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合は、サテライトマネージャ（☛P21）または、手動で（☛P31）ドライバをインストールしてください。

「ワイヤレスネットワークの接続」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP（64bit、128bit)」、「TKIP※」、「AES※」の場合に、ご利用いただけます。

※ TKIP、AES は、Windows Vista または Windows 8/7/XP（Service Pack 2 または 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

通常は、サテライトマネージャで設定してください。（サテライトマネージャで設定する場合、Windows XP では「ワイヤレスネットワークの設定」を無効に設定します。(☛P47))

「ワイヤレスネットワークの接続」は、次の手順で設定します。

① **設定する**

「ワイヤレスネットワーク接続」の接続画面で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択して接続し、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力してください。設定手順は下記を参照してください。

※ 暗号化キーは、大文字、小文字の区別がありますので、ご注意ください。

- Windows 8 の場合（☛P52）
- Windows 7 の場合（☛P58）
- Windows Vista の場合（☛P64）
- Windows XP（Service Pack 2 または 3）の場合（☛P71）

② **無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認する（☛P75）**

Windows XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合

Windows XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定し、無線 LAN 端末（子機）を接続し直す必要があります。

① サテライトマネージャを起動する
② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ］をクリックする
③「詳細設定」タブをクリックする
④「Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す

⑤「はい」をクリックする
⑥ 無線 LAN 端末（子機）を取り外し（☛P41）、接続し直す

Windows 8 の場合

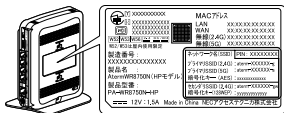
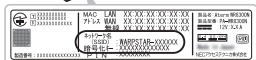
ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）、TKIP、AES です。

1 ［スタート］画面で［デスクトップ］を選択する

2 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする

3 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

- セキュリティが設定されている場合（「WEP」、「WPA-PSK」など）
  →<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>（☛P53）へ
- 「セキュリティで保護されていない」と表示されている場合
  →<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>（☛P54）へ

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、「手動で設定する場合」（☛P55）へ進みます。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

4 **接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする**

5 **［接続］をクリックする**

※接続に失敗した場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

① 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする
② 接続するネットワーク名（SSID）を右クリックして［この接続を削除する］をクリックする

上記の手順が完了したら、手順 1（☛P52）から接続し直してください。

6 **無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力して、［次へ］をクリックする**

※ PC の共有についての選択画面が表示された場合は、「はい、共有をオンにしてデバイスに接続します」をクリックしてください。

※無線 LAN アクセスポイント（親機）で、暗号化モードを WEP、使用する暗号化キー番号を 2 ～ 4 番にしている場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P55）へ進みます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合＞

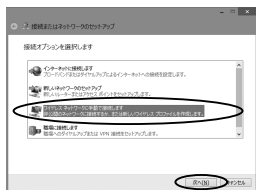
4 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする

5 ［接続］をクリックする

➡ 無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

●手動で設定する場合

1　通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] － [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

2　[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする

3　表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。(☛P52)

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

①[ネットワーク名] で無線 LAN アクセスポイント(親機)のネットワーク名(SSID)を入力する
②[セキュリティの種類] で [WPA- パーソナル] または [WPA2- パーソナル] を選択する
③[暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する
④[セキュリティ キー] に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
※暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>"</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>'</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。
※「\」(バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

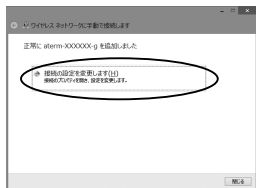
【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）
⑤[この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
⑦[次へ] をクリックする

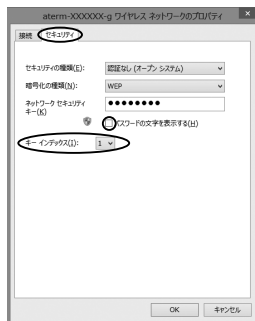
（次ページに続く）

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが WEP の場合〉

①[ネットワーク名] で無線 LAN アクセスポイント(親機) のネットワーク名(SSID) を入力する
②[セキュリティの種類］で［WEP］を選択する
③[セキュリティ キー］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合：
0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
④[この接続を自動的に開始します］のチェックを外す
⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる
⑥[次へ］をクリックする

4 ［接続の設定を変更します］をクリックする

上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。
①通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする
②接続するネットワーク名（SSID）を右クリックして［この接続を削除する］をクリックする
上記の手順が完了したら、P55の手順 1から接続し直してください。

5 **［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する**

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが WEP の場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

6 **［OK］をクリックする**

7 **［閉じる］をクリックする**

8 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックして、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする**

以上で無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定は完了です。

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

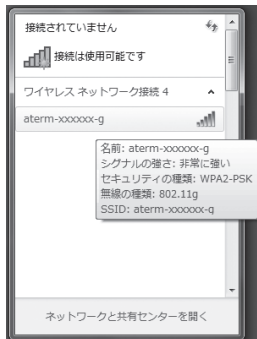
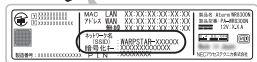
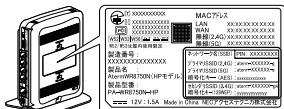
Windows 7 の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit)、TKIP、AES です。

1 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする**

※[スタート]（Windows のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 **接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する**

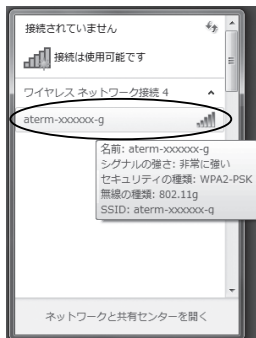
- セキュリティが設定されている場合（「WEP」、「WPA-PSK」など）
  →<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>（☛P59）へ
- 「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合
  →<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>（☛P60）へ

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックして「手動で設定する場合」（☛P61）の手順 2 へ進みます。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

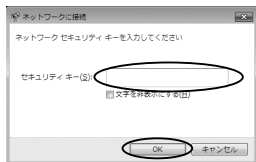
3　接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする

4　［接続］をクリックする

※接続に失敗した場合は、［閉じる］または［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

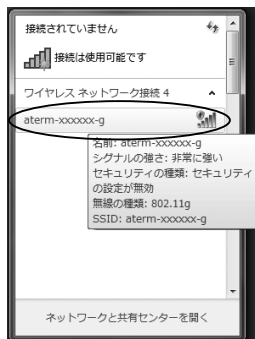
① ［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
② 接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③ ［はい］をクリックする
④ ［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順 1（☛P58）から接続し直してください。

5　無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力して、［OK］をクリックする

※無線 LAN アクセスポイント（親機）で、暗号化モードを WEP、使用する暗号化キー番号を 2 ～ 4 番にしている場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P61）へ進みます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合＞

3 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする

4 ［接続］をクリックする

➡ 無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

●手動で設定する場合

1 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] − [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする**

※[スタート]（Windows のロゴボタン）−［コントロールパネル］−［ネットワークとインターネット］−［ネットワークと共有センター］−［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

2 **[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする**

3 **表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う**

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。(☛P58)

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

①[ネットワーク名］で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する
②[セキュリティの種類］で［WPA- パーソナル］または［WPA2- パーソナル］を選択する
③[暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する
④[セキュリティ キー］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
※暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>"</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>'</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。
※「\」（バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）
⑤[この接続を自動的に開始します］のチェックを外す
⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる
⑦[次へ］をクリックする

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが WEP の場合〉

①[ネットワーク名] で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②[セキュリティの種類］で［WEP］を選択する

③[セキュリティ キー］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII 文字の場合：
　英数字 5 文字：
　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
　英数字 13 文字：
　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合：
　0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：
　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
　0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：
　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

④[この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑥[次へ］をクリックする

4 ［接続の設定を変更します］をクリックする

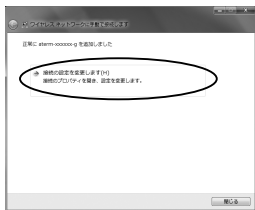
上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

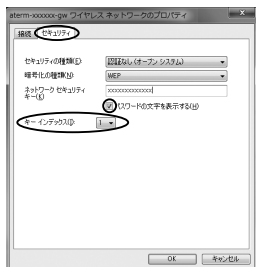
①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID) をクリックして右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

③［はい］をクリックする

④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P61 の手順 1から接続し直してください。

5 **［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する**

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが WEP の場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

6 **［OK］をクリックする**

7 **［閉じる］をクリックする**

8 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックして、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする**

以上で無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定は完了です。

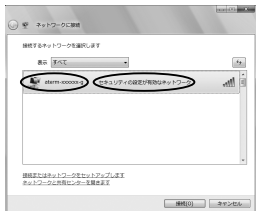
無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

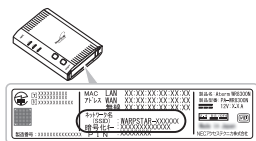
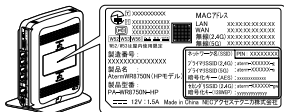
Windows Vista の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）、TKIP、AES です。

1 ［スタート］（Windows のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

- **「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合**
  →＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞（☛P65）へ
- **「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合**
  →＜無線LANアクセスポイント(親機)に暗号化が設定されていない場合＞(☛P66)へ

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［接続またはネットワークをセットアップします］をクリックして「手動で設定する場合」（☛P67）の手順 2 へ進みます。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

3 **［接続］をクリックする**

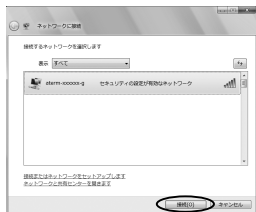
※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

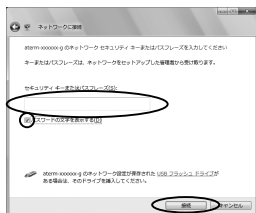
②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

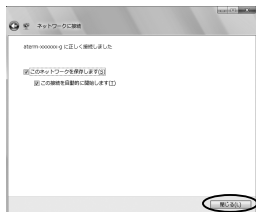
③［OK］をクリックする

④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

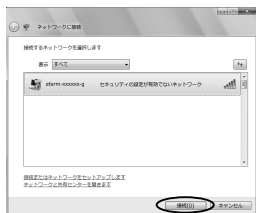
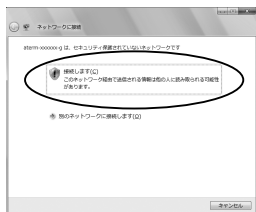
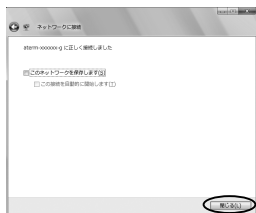
上記の手順が完了したら、手順 1（☛P64）から接続し直してください。

4 **無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力して、［接続］をクリックする**

※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、入力文字が表示できます。

※無線 LAN アクセスポイント（親機）で、暗号化モードを WEP、使用する暗号化キー番号を 2 ～ 4 番にしている場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P67）へ進みます。

「アクセスポイントの構成ボタンを押してください」と表示された場合は、画面内の「代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります」をクリックしてください。

5 **［閉じる］をクリックする**

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

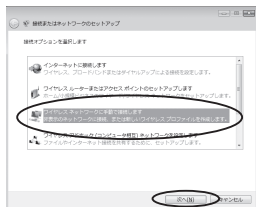
<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>

3 ［接続］をクリックする

4 ［接続します］をクリックする

5 ［閉じる］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

●手動で設定する場合

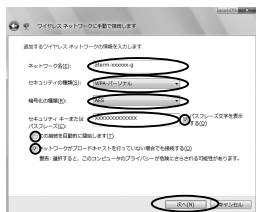
1 ［スタート］（Windows のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックして［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

2 ［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、［次へ］をクリックする

3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。
（☛P64）

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①［ネットワーク名］で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する
②［セキュリティの種類］で［WPA- パーソナル］または［WPA2- パーソナル］を選択する
③［暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する

（次ページに続く）

④［セキュリティ キーまたはパスフレーズ］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※［パスフレーズ文字を表示する］にチェックを入れると、入力文字が表示できます。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8 ～ 63 桁の場合】

英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※「\」（バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】

16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

暗号化キーは半角で入力します。

⑤［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑦［次へ］をクリックする

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①［ネットワーク名］で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②［セキュリティの種類］で［WEP］を選択する

③［セキュリティ キーまたはパスフレーズ］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合：

0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

④［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

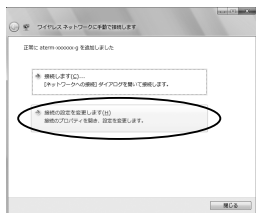
⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑥［次へ］をクリックする

4　［接続の設定を変更します］をクリックする

上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

① ［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
② 接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③ ［OK］をクリックする
④ ［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P67の手順1から接続し直してください。

5　［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

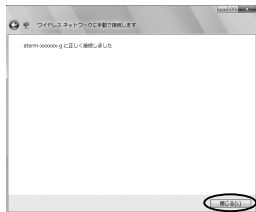
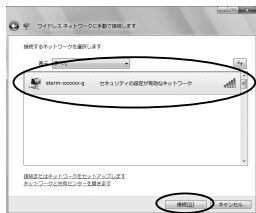
※ 画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

（次ページに続く）

6 [OK] をクリックする

7 [接続します] をクリックする

8 無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を選択し、[接続] をクリックする

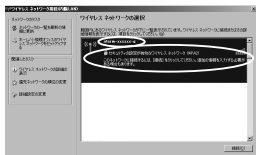
9 [閉じる] をクリックする

以上で、無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定は完了です。

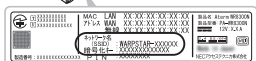
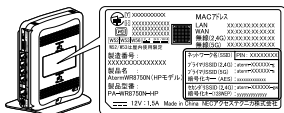
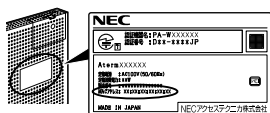
無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

Windows XP（Service Pack 2 または 3）の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）、TKIP、AES です。ここでは、Windows XP（Service Pack 3）の画面を例に説明しています。

1 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

2 **接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する**

- **「セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク」と表示されている場合**
  →＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞（☛P72）へ
- **「セキュリティで保護されていないワイヤレスネットワーク」と表示されている場合**
  →＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合＞（☛P72）へ

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※装置図およびラベルは一例です。

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［詳細設定の変更］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P73）の手順 3 へ進みます。
それでも接続できない場合には、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除するか、無線 LAN 端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

3 ［接続］をクリックする

4 無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力して［接続］をクリックする

※無線 LAN アクセスポイント（親機）で、暗号化モードを WEP、使用する暗号化キー番号を 2 ～ 4 番にしている場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P73）へ進みます。

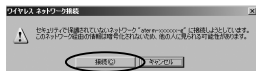
5 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合＞

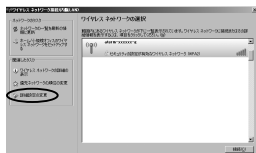
3 ［接続］をクリックする

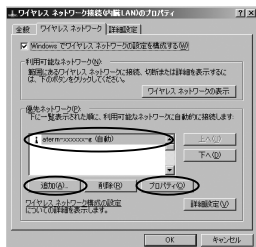
4 次の画面が表示された場合は、［接続］をクリックする

5 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

●手動で設定する場合

1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

2 [詳細設定の変更]をクリックする

3 [ワイヤレスネットワーク]タブをクリックし、接続する無線 LAN アクセスポイント(親機)のネットワーク名(SSID)をクリックして、[プロパティ]をクリックする

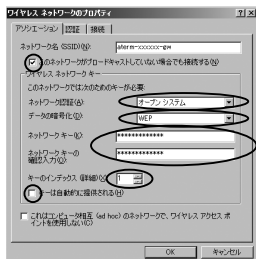
※ネットワーク名(SSID)が表示されていない場合は、[追加]をクリックする

4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント(親機)と同じ暗号化キーを入力してください。(☛P71)

〈無線 LAN アクセスポイント(親機)の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]または[WPA2-PSK]を選択する

②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
暗号化キーは半角で、8 ~ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※画面は、暗号化モードで WEP を使用するの場合の例です。

(次ページに続く)

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。（半角で入力します。）

【8 ～ 63 桁の場合】

英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※「\」（バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】

16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

④無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる

※Windows XP（Service Pack 2）でこのチェックボックスがない場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

⑤［OK］をクリックする

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが WEP の場合〉

①［ネットワーク認証］で［オープンシステム］を選択する

②［データの暗号化］で［WEP］を選択する

③［キーは自動的に提供される］のチェックを外す

④［ネットワークキー］を入力し、同じものを［ネットワークキーの確認入力］に再入力する

ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合：

0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる

※Windows XP（Service Pack 2）でこのチェックボックスがない場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

⑦［OK］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P75）で確認してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックし、［ネットワークと共有センターを開く］をクリックする

※ Windows 8 の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックして［ネットワークと共有センターを開く］をクリックします。

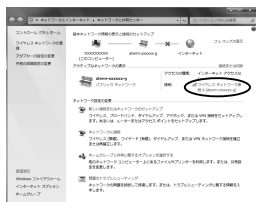
※ Windows Vista の場合は、［スタート］（Windows のロゴボタン）－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センターを開く］をクリックします。

※ Windows XP の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2 ［ワイヤレスネットワーク接続］をクリックする

※ Windows 8 の場合は、［Wi-Fi］をクリックします。

※ Windows Vista の場合は、［状態の表示］をクリックします。

※ Windows XP の場合は、［状態］をクリックし、［全般］タブをクリックします。

※ 画面は Windows 7の場合の例です。

3 無線設定が正しく行われていることを確認する

・［状態］が「有効」になっていること（Windows XP の場合は、［接続］になっていること）

・［速度］が表示されていること（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。）

※ 画面は Windows 7の場合の例です。

4 ［閉じる］をクリックする

6 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

※ 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定、確認方法については、無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などを参照してください。ここでは、主に WR8750N の場合を例に説明しています。

● 無線 LAN 端末（子機）の接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。 ●サテライトマネージャでも確認することができます。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で、「スキャン」をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名（SSID）で無線 LAN アクセスポイント（親機）を識別できます。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web で確認することができます。（WR8750N の場合：[無線 LAN 設定] − [無線 LAN 詳細設定] 内の「無線 LAN アクセスポイント（親機）設定」）
暗号化のキーを忘れてしまった	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web で確認することができます。（WR8750N の場合：[無線 LAN 設定] − [無線 LAN 詳細設定] 内の「暗号化」）
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っているか、確認してください。 ●パソコンの USB ポートに WL300NU-AG がしっかり奥まで挿入されているか、確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていないか、確認してください。 ●ネットワーク名（SSID）があっているか、確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定値は、クイック設定 Web で確認することができます。（WR8750N の場合：[無線 LAN 設定] − [無線 LAN 詳細設定] 内の「無線 LAN アクセスポイント（親機）設定」） ※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。 ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。

症　状	原因と対策
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない （つづき）	●暗号化を有効にしている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線 LAN 端末（子機）によっては暗号強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。 ※（例）暗号強度 ・ WEP64bit → 40bit ・ WEP128bit → 104bit ※（例）暗号化キー ・ Windows Vista および Windows 8/7 のワイヤレスネットワークでは「セキュリティ キー」または「パスフレーズ」 ・ Windows XP のワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」 ●通信モードがあっているか、確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信がきれる場合があります。お互いを数 m 以上離してお使いください。 ●サテライトマネージャの「接続先の選択」でチェックの入っている接続先を選びなおしてみてください。 ●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。
無線状態が良好なのに、通信できない	●固定 IP アドレスでお使いの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 例：無線 LAN アクセスポイント（親機）が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンは 192.168.0.x
無線状態が良好なのに、速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）を 1m 以上離してください。
AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。 ●AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。 ●無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となるところに移動させてください。

● サテライトマネージャに関するトラブル

症　状	原因と対策
Windows XP の場合、インストール時に「このパソコンには無線制御用のソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される	●サテライトマネージャのインストールを中止し、手動でドライバをインストールしてください。(☛P31) 無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続は「らくらく無線スタート EX」による設定が可能です（Windows XP（Service Pack 2 または 3）の場合）。設定方法は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書（「つなぎかたガイド」または「機能詳細ガイド」）を参照してください。
らくらく無線スタートが成功しない	●無線 LAN アクセスポイント（親機) の暗号化が解除されている →無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。 ●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ●パソコンに設定された固定 IP アドレスが無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。 ●古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、添付の CD-ROM を使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になったらいったん離します。手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。(☛P27) ●WL300NU-AG の他にネットワークデバイス（ETHERNET ボードなど）が動作している →ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、他の無線 LAN カードや LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度が一致していない →無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度を設定してください。

症　状	原因と対策
Windows Vista および Windows 8/7/XP/2000 Professional で、サテライトマネージャがインストールできない	●Administrator 権限のあるユーザーでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。
サテライトマネージャは使える状態（青表示）になるが無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	●暗号化を有効にしている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。 暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。 ●Windows XP をご利用の場合は、[Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする] 設定になっていることを確認してください。
「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント（親機）が見つからない	●電波状態により、「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。 このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力して検索し直してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）側のクイック設定 Web の [無線 LAN 設定] － [無線 LAN 詳細設定] の「無線 LAN 端末（子機）の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力するか、ETHERNET 接続のパソコンから「無線 LAN 端末（子機）の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」のチェックを外して「ネットワークの参照」で検索してください。 ●無線 LAN 端末（子機）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させないと、無線 LAN 端末（子機）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。
[サテライトマネージャ] アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	●無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続ができていません。 「無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない」（☛P76）を確認してください。
サテライトマネージャが使用できない	●WL300NU-AG のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 P26 を参照していったんドライバとユーティリティ（Windows XP/2000 Professional の場合はドライバ）を削除してから、もう一度ドライバとユーティリティ（Windows XP/ 2000 Professional の場合はドライバ）をインストールしてください。

7 製品仕様

WL300NU-AG 仕様

■ 仕様一覧

項　目		諸元および機能		備　考
端末インタフェース		USB（USB2.0 ＊ 1）		
無線 LAN インタフェース	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯 （2,400-2,484MHz）/1 ～ 13ch	
			［W52］5.2GHz 帯 （5,150-5,250MHz）: 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			［W53］5.3GHz 帯 （5,250-5,350MHz）: 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			［W56］5.6GHz 帯 （5,470-5,725MHz）: 100/104/108/112/116/120/ 124/128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数［HT20］56、［HT40］114 MIMO（空間多重）方式	
		伝送速度＊ 2	送信：[HT20] 130/117/104/78/ 52/39/26/13Mbps [HT40] 300/270/243/216/ 162/108/81/54/ 27Mbps 受信：[HT20] 130/117/104/78/ 52/39/26/13Mbps [HT40] 300/270/243/216/ 162/108/81/54/ 27Mbps （自動フォールバック）	
	IEEE802.11a	周波数帯域 / チャネル	［W52］5.2GHz 帯 （5,150-5,250MHz）: 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			［W53］5.3GHz 帯 （5,250-5,350MHz）: 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			［W56］5.6GHz 帯 （5,470-5,725MHz）: 100/104/108/112/116/120/ 124/128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度＊ 2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	

項　目		諸元および機能		備　考
無線 LAN インタフェース	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）/ 1 ～ 13ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度＊ 2	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）/ 1 ～ 13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度＊ 2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）	
	セキュリティ＊ 3	SSID、WEP（128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）、WPA2-PSK（TKIP、AES） ※ IEEE802.11n では WPA-PSK（AES）、WPA2-PSK（AES）のみ対応になります		
	通信モード＊ 4	インフラストラクチャ通信		
	その他機能	ユーティリティ（サテライトマネージャ）対応		
ヒューマンインタフェース	状態表示ランプ	状態表示 LED × 1（ACT）、LED 色：緑色		
利用可能 OS		• Windows 8 日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版 ※ただし、Windows RT には対応しておりません。 • Windows 7 日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版 • Windows Vista（Service Pack 1 および 2 含む）日本語版かつ 32 ビット（x86）版 • Windows XP（Service Pack 1 ～ 3）日本語版 • Windows 2000 Professional（Service Pack 1 ～ 4）日本語版		
認証		端末機器認証、特定無線設備の認証		
電源		DC ＋ 5V × 500mA		パソコンから給電
消費電力		2.5W（最大）		
外形寸法		約 28（W）× 87（D）× 12（H）mm		キャップを除く
質量（本体のみ）		約 0.02kg		
動作環境		温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90%		結露しないこと
VCCI		VCCI クラス B		

＊ 1：USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。WL300NU-AG の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

＊ 2：規格による理論値上の速度であり、ご利用の環境や接続機器などにより実際のデータ速度は異なります。

＊ 3：Windows Vista および Windows 8/7/XP のワイヤレスネットワークの接続を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。
〈TKIP、AES の場合〉
Windows Vista または Windows 8/7/XP（Service Pack 2 または 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

＊ 4：WL300NU-AG では、アドホック通信をご利用になれません。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。

（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

（4）本製品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

● 廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

お願い

- お問い合わせやアフターサービスについては、別紙をご参照ください。
- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ADSL など回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NEC アクセステクニカ株式会社

Aterm WL300NU-AG 取扱説明書　第 2 版

AM1-001274-002

2012 年 12 月